

令和3年第2回区議会定例会（代表・一般）における主な質問について

1．議会日程等

会期：令和3年6月14日（月）～6月23日（水）

（1）代表質問 6月14日（月）

[質問者：4会派 4名]

（2）一般質問 6月15日（火）・6月16日（水）

[質問者：33名]

2．主な質問要旨等

別紙「令和3年第2回区議会定例会（代表・一般）における教育（文教）領域の主な質問・答弁の要旨」のとおり。

3．世田谷区のホームページにおける閲覧

区議会本会議における全ての質問及び答弁については、世田谷区ホームページ上の「世田谷区議会」の「議会中継」又は「会議録検索システム」にて閲覧可能です。

「会議録検索システム」における令和3年第2回区議会定例会の内容については、9月上旬公開予定。

【別紙】

令和3年第2回区議会定例会(代表・一般)における教育(文教)領域の主な質問・答弁の要旨

<代表>

敬称略

項目	会派	質問者	答弁者	質問要旨	答弁要旨
子どもの活動の場の確保	自民	畠山 晋一	生涯学習部長	スポーツや文化活動は子どもの心の成長に大変重要だ。子どもが属する地域団体が校庭や空き教室を有効活用できるよう実態調査し利用しやすい仕組みをつくれ。	利用状況を把握し学校施設活用の在り方を検討する。
校庭の砂じん対策の推進	自民	畠山 晋一	教育総務部長	コロナ対策で窓の開放時間が増え、校舎内や学校近隣への砂じんによる汚れや健康被害が懸念されている。校庭の芝生化やゴムチップ舗装整備を早急に検討せよ。	環境への影響も含め他自治体の例を参考に検討する。
地域図書館の民間活用の進め方	公明	福田 たえ美	生涯学習部長	魅力的な図書館づくりに向け、区が地域図書館で民間活用を進めることを評価する。本格導入に先立ち指定管理者制度をモデル実施する2館はどう選定するのか。	規模や課題改善の見込みなどを総合的に勘案する。

<一般>

敬称略

項目	会派	質問者	答弁者	質問要旨	答弁要旨
就学前からのインクルーシブ教育	立憲	桜井 純子	教育政策部長	幼児期に障害の有無にかかわらず共に学ぶことは互いを認め合い尊重する心を育む。インクルーシブな教育保育を策定中の乳幼児教育・保育に係る指針に加えよ。	全ての子どもに質の高い教育や保育を届ける方針を策定中だ。
真のインクルーシブ教育の実現	立憲	桜井 純子	教育政策部長	区は教育総合センターを全ての子どもが共に学び育つ真のインクルーシブ教育実現の拠点にするとする。社会全体の模範となるような取組は考えているのか。	全ての子どもが共に学び認められ尊重される教育を推進する。
学校の東京2020大会観戦中止の決断	立憲	風間 ゆたか	教育政策部長	新型コロナ収束が見込めない中、学校単位での東京2020大会観戦は感染リスクが高く、不安を抱く保護者の中止を求める声も多い。教育委員会は即刻中止を決断せよ。	校長会と調整を進め区長部局とも協議し実施可否を判断する。

< 一 般 >

敬称略

項目	会派	質問者	答弁者	質問要旨	答弁要旨
学校における交通標識教育の推進	世田谷	ひうち 優子	教育政策部長	自転車の危険運転に係る罰則強化を踏まえ刑事処分の対象にもなる中学生への交通標識教育を推進すべきだ。生徒手帳に標識一覧を掲載して理解度テストも行え。	手帳への掲載やテストを校長会などで周知し実施を検討する。
学校行事における安全性の確保	立憲	いそだ 久美子	教育総務部長	小中学校の部活動などが長く制限され子どもの心身への影響を懸念する。児童生徒に市販キットのPCR検査を行うなど安心して学校行事を行える環境を整えよ。	子どもの体験機会の確保に向け適切な感染対策の強化を図る。
不登校児の学習の遅れへの対応	区守会	くりはら 博之	教育政策部長	いじめが原因で不登校となってしまう子どもの学習の権利を保障すべきだ。欠席期間に学習の遅れが生じないように、区はどのような支援を行っているのか。	オンラインを活用した双方向型の学習指導などを行っている。
不登校の子どもへの継続的な支援	区守会	くりはら 博之	教育政策部長	不登校の子どもが高校進学を機に登校を再開しても、学習の遅れが原因で再び不登校となりひきこりに陥る例もある。卒業後も継続的な支援を行う体制を築け。	支援が途切れぬよう福祉部門と継続した支援体制を検討する。
用賀小改修工事の再開時期	自民	菅沼 つとむ	教育総務部長	区立小中学校は、教育環境と災害拠点の両面から重要な施設だ。区はコロナ禍による事業見直しを理由に延期した用賀小の改修工事をいつ再開するつもりなのか。	早期再開に向け工事内容を精査し、財政状況を踏まえ進める。
同性カップルへの平等な遺族補償	虹	上川 あや	教育総務部長	区は区の要請で水防活動にあたった住民や、区立学校の学校医等が死亡した場合の遺族補償から同性パートナーを排除している。独自制度で事実婚同様、補償せよ。	関係所管で連携し、区独自の制度策定について鋭意検討する。
区民目線での区立図書館の評価を	共産	中里 光夫	生涯学習部長	区立図書館の指定管理者導入に反対だ。指定管理者は過大評価されており、区民の評価がない。サービスの質や利用者要求に応えたかなど区民を交えて評価し直せ。	仮称図書館運営協議会では区民の参加を公募し評価していく。
特別支援学級におけるICT教育	立憲	中山 みずほ	教育政策部長	区立校児童生徒へのタブレット配付によりICT教育への関心が高まる中、特別支援学級での活用も充実すべきだ。障害特性に応じたアプリ導入などを推進せよ。	アプリの有効性や活用方法などを現場目線で研究している。

< 一 般 >

敬称略

項目	会派	質問者	答弁者	質問要旨	答弁要旨
砧小改築工事の早期再開	自 民	阿久津 皇	教育総務部長	砧小は敷地内の危険な崖地や将来的な児童数増のため改築が予定されていたが、2年のプロポーザル不調で延期となった。児童の安全安心のため早期に再開せよ。	早期再開に着手できるような課題の整理に向け鋭意取り組む。
中学校教科書の採択替えの検討	自 民	阿久津 皇	教育政策部長	国は3月に教科書検定の追加合格を公表した。出版社への公平性確保と教育環境充実を図るため、新たな教科書を調査研究し必要に応じて採択替えも検討せよ。	採択替えによる生徒などへの影響や公平性を踏まえ検討する。
教育総合センターのあるべき姿	新 風	つるみ けんご	教育政策部長	設置予定の教育総合センターには全ての子どもが社会で花を咲かせるような教育機能が必要だ。作成中の計画にセンターが担う役割と具体的取組を明記せよ。	センターの位置づけや役割、今後の展開などを計画に組み込む。
東京シューレの問題に対する見解	F行革	田中 優子	教育政策部長	ほっとスクール希望丘の運営受託者である東京シューレが、過去の宿泊型フリースクール活動で起こした性加害事件を公表した。区はこの問題をどう考えるか。	公表の経緯を踏まえ再発防止に向けた法人の取組を注視する。
学校トイレの蛇口の自動水栓化	公 明	いたい ひとし	教育総務部長	学校での新型コロナ対策として手洗い環境の向上を図るべきだ。不特定多数が使うトイレの手洗い場を衛生的で節水効果もある非接触型の自動水栓に改修せよ。	改築やトイレ改修時に非接触型の自動水栓設置を進めていく。
学校連携観戦の中止決断を	共 産	江口 じゅん子	教育政策部長	学校連携観戦に関して救護所確保の目途が無いこと等明らかになった。都の対策は不十分で、子どもの命を預かる現場からの発信が必要。中止を決断せよ。	子どもの安全を最優先に校長会で調整し実施可否を判断する。
不登校対策の早急な強化を	共 産	江口 じゅん子	教育政策部長	不登校後自宅で長期間過ごす子どもは多く居場所が無い等課題が大きい。不登校特例校早期設置に加えほっとスクールを増設する等多様な居場所づくりを進めよ。	ほっとスクールなどの居場所づくりはできることから行う。
SNS使用に係る教員への指導	F行革	ひえしま 進	教育政策部長	教員がSNSを悪用し子どもへのわいせつ行為に至る事件が頻発している。区は被害の未然防止に向け教員のSNS利用に対しどのように指導しているのか。	児童生徒との私的なSNSの使用禁止を研修で徹底している。

< 一般 >

敬称略

項目	会派	質問者	答弁者	質問要旨	答弁要旨
薬物乱用防止への教育現場の取組	F行革	ひえしま 進	教育政策部長	大麻などの危険薬物使用による高校生や大学生の検挙数が増加しており、小中学生からの正しい知識の啓発と注意喚起が急務だ。教育現場における取組状況を示せ。	専門家を招くなど全区立校で薬物乱用防止教室を行っている。
DX推進に必要な教育委員会改革	自民	河野 俊弘	教育監	学校のDX推進には教員の指導力向上や教材準備など解決すべき課題が多い。まずは教育委員会を機動的な組織へと改革することで学校との連携を円滑化せよ。	会議のオンライン化などDX視点で業務見直しを進めている。
放課後児童システムの統合	自民	加藤 たいき	教育政策部長	新BOP学童クラブと学校は児童の登下校を通知するシステムをそれぞれで導入している。内容が酷似しているため区内連携でシステムを統合し経費を削減せよ。	区内で連携を図りながらシステムの整理統合を含め検討する。
教育に係る情報一元化への方策	あらた	佐藤 美樹	教育政策部長	国が教育に係る情報をクラウド環境に一元化を進める中、区では新BOP児童の情報管理に独自システムを導入した。データ連携やシステム統合は可能なのか。	教育委員会にとどまらず区長部局とも連携し検討を進める。